

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

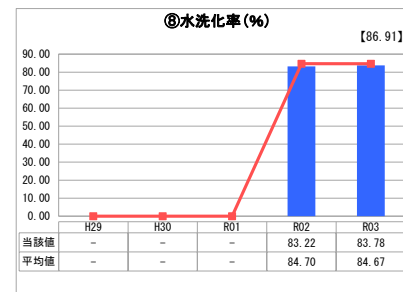
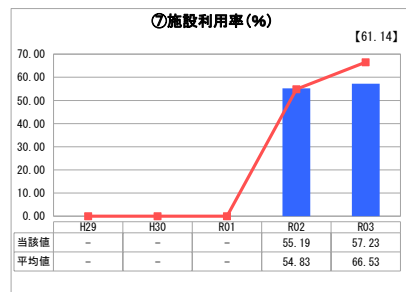
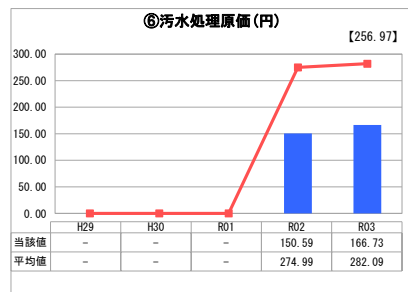
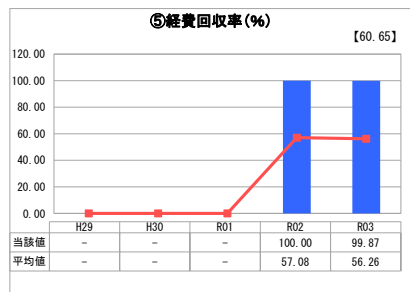
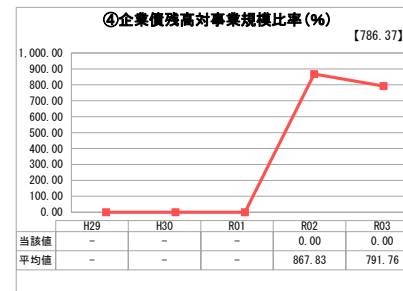
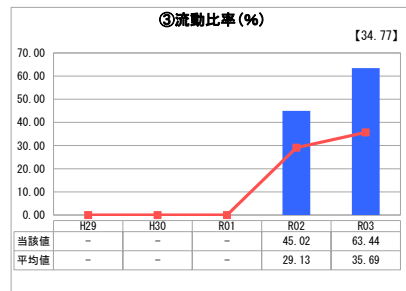
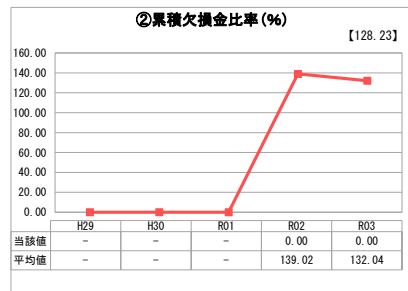
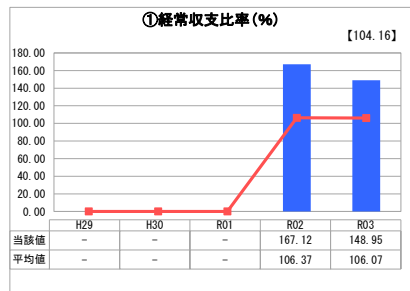
栃木県 矢板市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	76.06	2.85	66.12	3,300

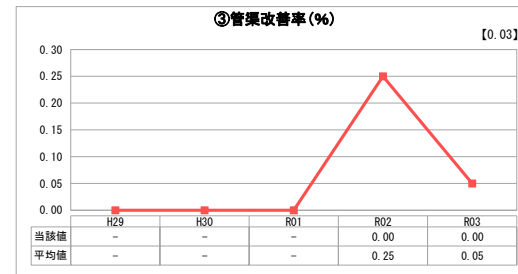
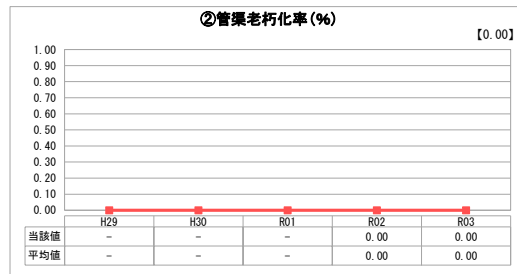
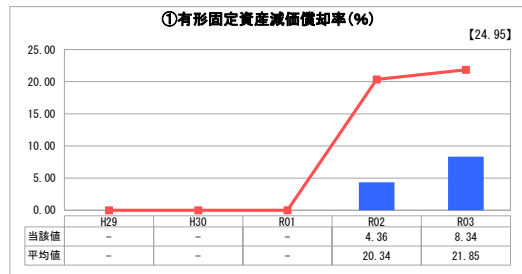
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
31,373	170.46	184.05
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
888	0.68	1,305.88

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、前年度よりは低下したものの類似団体平均値と比較すると高い状態を維持しているが、更なる義務的経費削減を図る。  
 ③流動比率は、算式に用いられる流動負債のうち、殆どが企業債であるため、企業債の縮減に努める。  
 ⑥汚水処理原価は、全国平均及び類似団体平均値と比較すると低いものとなっているが、接続率はまだ高いとは言えず、今後老朽化による維持管理費の増大が見込まれることから、水洗化率向上に向けた施策が必要である。  
 ⑦施設利用率は、前年度より高くなっているものの類似団体平均値が大きく向上したため比較すると低くなっている。処理区域内人口が増えていないことから利用率の大幅な向上は難しいが、引き続き接続率向上に努める。  
 ⑧水洗化率は、類似団体平均と同程度であるが、今後も普及啓発活動を推進する必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

比較的新しい施設であるため、管渠の更新はまだ必要ではないが、水処理センターの不具合はだんだん増えてきているため、施設調査等を実施し、更新計画を立て計画的に対応していく必要がある。

### 全体総括

令和3年度に使用料の改定を行ったが、人口の減少や、施設の老朽化、電気料や資材の高騰による費用負担の増加が今後の健全な経営のための課題と考える。経営戦略の見直し等を行い、更なる経費の削減、接続者数の増加を推進し財源の確保に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。